

知っておきたい 診療技術

美容外来で新しい
診療が始まりました

医療機関で行う脱毛治療

当院では光治療器を用いた脱毛治療を行っています。IPL（インテンス・パルス・ライト）という光を照射して、メラニン色素を持つ毛根周囲の組織を熱凝固させ、毛が生えてこなくなるようにします。

〈実際の治療法〉

治療を希望される部位を事前に剃毛してきていただきます。目を保護するプロテクターをつ



男性のひげ脱毛の様子

け、冷却ジェルを塗りながら光を照射します。部位によりですが、1ヶ所10〜20分程度です。パチンパチンと輪ゴムではじかれるような痛みがあります。

〈繰り返し治療が必要〉

毛は伸びて抜け落ち、また生えるという「毛周期」を繰り返しています。成長期の毛は照射した光に反応しますが、抜け落ちて休んでいる毛根（退行期や休止期）は反応しにくいいため、1回の照射ですべての毛に効かせることはできません。毛周期に合わせて複数回照射を行う必要があります。回数は部位や毛の太さ、濃さなどによって異なります。

〈病院で脱毛を行うメリット〉

脱毛は毛根周囲の組織にダメージを与える医療行為です。照射の際には、医師、看護師が患者さんの痛みや皮膚の色を観察しながら出力を調整します。万一、皮膚が赤くなる、ヒリヒリするなどのトラブルが生じた場合でも、病院であればすぐに

対応することができます。

* * *

現在当院では、男性のひげ・わき、女性のわき・デリケートゾーン（外陰部）の脱毛治療を行っています。男性のひげの脱毛は、毎日の手入れが楽になる、女性のデリケートゾーンの脱毛は、生理中の不快感が軽減されるなどのメリットがあります。形成外科には女性の常勤医師2名が在籍しています。プライバシーに配慮して治療を行います。

ピアス穴あけ

自分で市販のピアッサーを使ってピアス穴をあける方も多いと思いますが、自分以外の人にピアス穴をあけるのは医療行為であるため、医療機関以外ではできません。自分で穴をあけると、まっすぐに貫通しなかったり、思っていた場所と違うところに穴があいてしまったりすることがあります。また清潔な環境下で行わないと化膿してしまふなどのトラブルになることがあります。



穴あけをする位置を相談して決めます

当院では単回使用のピアッサーを用いて清潔に穴あけを行います、あけた後のアフターケアについても指導しています。万一、化膿してしまったり、ケロイドになってしまった場合でも、医療機関であれば早めに対応することができます。

* * *

脱毛およびピアス穴あけは自費診療です。完全予約制となりますのでご希望の方は形成外科外来までお問い合わせください。

（形成外科部長 宮澤季美江）

お問い合わせは
形成外科へ

TEL(代表):
026-278-2031
(平日午後3時〜5時)

ホームページも
Check!!



長野松代総合病院
各診療科の紹介「美容外来」